

## Misato ProCeедings

### 連載・今月の一枚

#### 第51回：天文台建設中！

今月は、オープンする直前の天文台の様子をご覧いただきましょう。平成6年12月8日付の朝日新聞に掲載された天文台の写真は、まだ工事中のため、ドームの上部まで足場に取り囲まれています。このような天文台はほとんどの方にとって初めて見る姿ではないでしょうか。私もその中のひとりです。

これ以降もたびたび、天文台を各社で取り上げて頂いているのですが、そこに使用されている写真は、今と変わらぬ足場の無い姿です。そういう意味でこの写真は貴重な一枚です。

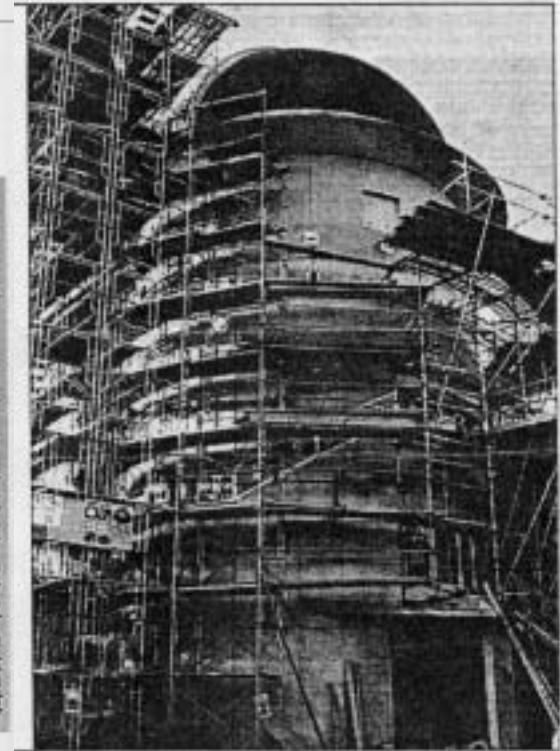
### 美里に来夏「日本一」誕生

天文台は今年の七夕で、オープンして10周年を迎えます。節目の年ということで、ちょっとだけ昔を振り返ってみました。

これからはもちろん前を向いて一生懸命進んでいきたいと思います。（Y2）

口径105センチで3人が常駐

イメージアツ・ブへ



大型化競う自治体・公開天文台の反射望遠鏡

### 「インターネット天文台」事始め

佐藤 文隆

みさと天文台のことを最初に聞いたのは設計をされた上田 篤さんが「名誉台長をお願いしたい」といつて京大の私の部屋にお見えになったときである。上田先生は建築家というより独特の文明評論家としてお名前は著作で存じ上げていたがお会いするのはこの時が初めてだった。実はこの頃、先生の奥さんと私の家内がカルチャースクールのようなところで友達になっていて、奥さんから家内に電話があってお見えになる時間を持ち合わせたように思う。奥さんは有名な自然学者今西錦司の娘さんのお一人です。その後で、上田さんの仲介で当時の小馬場町長さんにお会いして、本決まりになった。

それから、間もなくして、美里に伺ったと思う。建物は出来上がり、望遠鏡も据え付け終わってこれから調整という時点だった。なんなくあの塔が不安定な感じがして「大丈夫かな」と感じた記憶がある。

研究員採用の相談にいくという電話連絡が役場からあって、間もなくして坂元さんと役場の人が研究室に見えられた。名誉台長を受けてから

私は自分なりに台長の候補に誰がいいかを考え始めていた。天文学会の名簿や「天文月報」などをめくった。そして国立天文台の協力のもとでPaoNetという天体画像を公共天文台で利用するネットワークをつくる中心人物であった尾久土さんに目がとまった。やってきた二人に私はその名前をあげて「県の天文台におけるが台長なら来て貰えるだろう」といった。ところが実は、お二人は私が喋り出したので遠慮して言いそびれていたようだが、台長の候補者をもってきて私の了承を得に来たのだった。そして話し終わった時点では坂元さんが「実はその人を台長にする案を持って来たのです」と言われた。たぶん、私が「方針」と「候補者の条件」などをべらべらと喋りはじめたので、具体名を言うまでお二人は「別の名前が出てきたらどうしよう」とハラハラだったのではないかと思う。偶然一致して台長はすんなり決まった。

十年前というと現在のようなインターネットの普及は想像もできない状態だった。しかし私の研究室周辺

では案外この技術を先取りしていた。クリントン政権になったときにMosaicというブラウザでホワイトハウスのホームページにつないでゴア副大統領の情報ハイウェイ演説を見て新しい時代を感じていた。実はこのMosaicを開発したイリノイ大学のスーパーコンピュータ研究所は、もともと一般相対論の研究者で1977年頃にブラックホールの衝突のシミュレーションをやって学界にデビューしたラリー・スマートという男が立ち上げた研究所だった。そういうものもあってその後の進展に興味を持っていた。

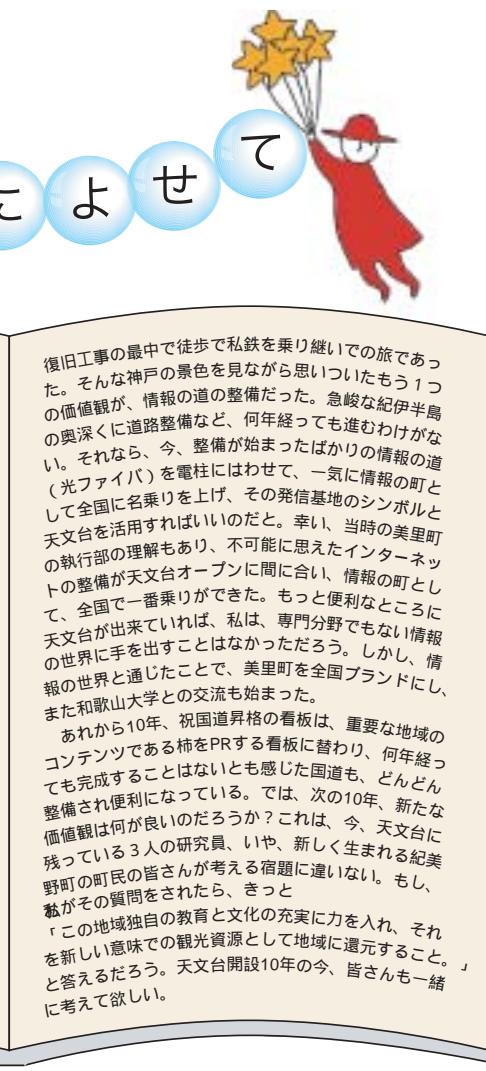
また当時は大学といえどもネットで繋がっていることは普通でなかった。ところが、高エネルギー物理学の実験の世界では先進国間のネットワークをいつも最先端で進めていた。Webとはこうした研究の世界においてCERNで発明されたものだ。ともかくこの実験の分野は“金持ち”で独自の回線で繋がっていた。京大にもその実験グループがあり、当初はそこのコンピュータに行ったり、後ではそこから延長したり、メールやインターネットをはやい時期に体験している“新もの好き”だった。

そんなこともあって、みさと天文台に最初に行って、まだCCDにも繋いでない一台のパソコン（マックでしたね？）を目にした時、「公共天文台のインターネット時代での展開」というテーマがすんなりと浮かんだような気がする。こういう発想で浮かび上がった尾久土さんだから台長を引き受けた彼の構想ももともとそういうものであった。したがって方針についてもすんなりとお互いに共鳴し、彼の指導力でその後の大きな展開をみることができた。

私のような“新もの好き”でも今日のような情報化社会に急速になるとは全く“想定外”でした。時代は絶えず変動しています。時代時代の社会のニーズを見据えていくのは大変難しいことですが、いつも自ら行動してみる中でしか先はひらけてこないと思います。

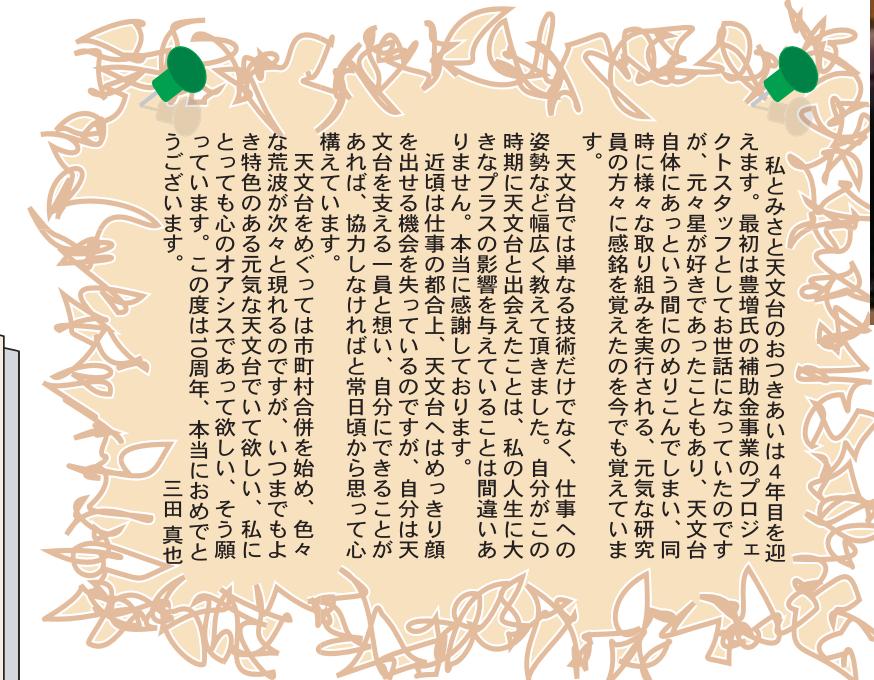






復旧工事の最中で徒歩で私鉄を乗り継いでいる旅であった。そんな神戸の景色を見ながら思いついたもう1つの価値観が、情報の道の整備だった。急峻な紀伊半島の奥深くに道路整備など、何年経っても進むわけがない。それなら、今、整備が始まったばかりの情報の道（光ファイバ）を電柱にはわせて、一気に情報の町として全国に名乗りを上げ、その発信基地のシンボルと天文台を活用すればいいのだと。幸い、当時の美里町の執行部の理解もあり、不可能に思えたインターネットの整備が天文台オープンに間に合い、情報の町として、全国で一番乗りができる。もっと便利なところに天文台が出来ていれば、私は、専門分野でもない情報の世界に手を出すことはなかっただろう。しかし、情報の世界と通じたことで、美里町を全国ブランドにし、また和歌山大学との交流も始まった。

あれから10年、祝国道昇格の看板は、重要な地域のコンテンツである柿をPRする看板に替わり、何年経っても完成することはないとも感じた国道も、どんどん整備され便利になっている。では、次の10年、新たな価値観は何が良いのだろうか？ これは、今、天文台に残っている3人の研究員、いや、新しく生まれる紀美野町の町民の皆さんが考える宿題に違いない。もし、私がその質問をされたら、きっと「この地域独自の教育と文化の充実に力を入れ、それを新しい意味での観光資源として地域に還元すること。」と答えるだろう。天文台開設10年の今、皆さんと一緒に考えて欲しい。



天文台では単なる技術だけでなく、仕事への姿勢など幅広く教えて頂きました。自分がこの時代に天文台と出会えたことは、私の人生に大きな特色のある元気な天文台でいて欲しい、私にもよつても心のオアシスであつて欲しい、そう願つています。この度は10周年、本当にありがとうございます。この度は10周年、本当に三田真也

天文台オープン当初から関わってこられた研究員スタッフより届いたメッセージです。

中央上：尾久土正己さん（和歌山大学教授）、中央中：坂元誠さん（西はりま天文台公園主任研究員）。括弧内は現在の職名です。



左：イベントの裏方で働く三田くん  
下：打ち上げで乾杯！岡本さん



みさと天文台10周年おめでとうございます！学生の時には、卒業論分作成のため半年ほど入り浸り、大変お世話になりました。あの時に教えて頂いたことが、教師としての仕事にも生かされています！（岡本知佐美）

もう10回も美里天文台の空で織姫と彦星が会えたんですね。10周年おめでとうございます。（芝原由果）

左：巨大木星儀の作者、太田君  
中：初代客員研究員、西端君  
右：これから活躍が期待される、芝原さん

### Message for you

みさと天文台では博物館実習で大変お世話になりました。短い期間でしたが、多くの方に星について伝えることができよかったです。（太田基春）

初めてみさと天文台を訪れたのが4年前になりますが、僕にとって天文台は、行くたびに様々な知識や技術を学ぶ魅力ある施設でした。その思いは今も変わりありません。これまでの10年がそうであったように、これから10年、20年も、訪れた方に様々な角度から天文の楽しさを十二分に伝えられる施設であってほしいと願っています。（西端一憲）



：秘蔵ショット！

イベント終了後、つくった舞台を片づける前にみんな（尾久土、豊増、森谷）で一曲…。



：懐かしの一枚。

1998年新年号に掲載された御挨拶用集合写真。



左：1999年春頃の坂元さん（写真右）と西田さん。



早いもので僕が初めて天文台を訪れてから早8年が経とうとしているんですね。大学の天文サークルで訪れたのがきっかけで、研究員の方々と顔見知りになり、ある日突然「じゃ次の観望会、石川よろしく。」と半ば強引に勉強させていただく機会を与えてもらったのを、今でも鮮明に覚えています。研究員さんにも受付のお姉さんにも大変かわいがってもらいました。確か8年前は今の4倍くらいのスピードでドームが開閉していましたね（笑）。今年の夏は博物館実習生として一生懸命働きますのでよろしくお願いします。

左のメッセージは、天文台のオープン当初に事務スタッフとして働いていた西田幸弘さん（現在は、合併協議会）から届いたもの。

和歌山大学の学生さんが天文台へやってくるきっかけとなつた石川くんから届いたメッセージ。

## 6月の天文教室 ディープインパクト

6月の天文教室は、4月からみさと天文台客員研究員である和歌山大学教育学部の大学院生荻原文恵さんが、NASAによって7月4日に行われる”ディープインパクト計画”についての解説を行いました。ディープインパクト計画とは、地球を約5年半の周期で周回している彗星



写真：ディープインパクトの瞬間  
(画像提供:NASA)

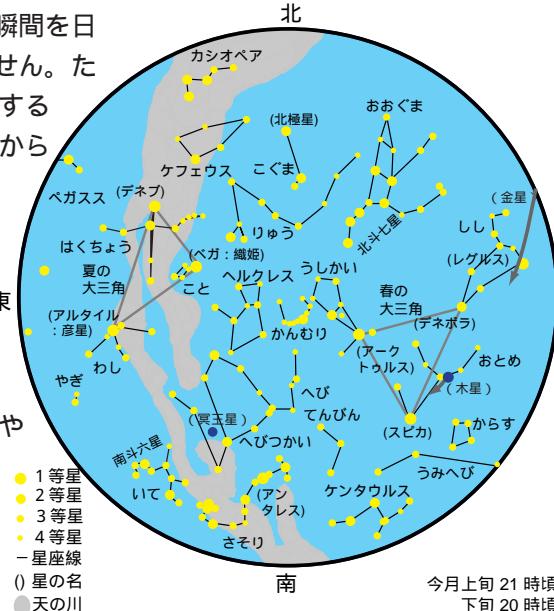
### 連載：今月の星空

7月に入てもまだしばらくは梅雨のうとうしい天気が続きます。また、夏に向けて寝苦しい夜が増えたりして気分もイライラしがちです。そんな気分も、晴れた日の夜に空をぼんやり眺めることで少しはましになるのではないでしょうか。

#### えっ!?見えないの??

天文教室の欄にも書いた様に、7月4日にNASAによるディープインパクト計画が実行されますが、残念ながら、インパクタ - が彗星に衝突時間が日本時間の午後3時

前後となるためまさにその瞬間を日本からは見ることが出来ません。ただし、衝突後の彗星を観測することができるため、6月末から彗星を観測しておいて、衝突前後の彗星の様子を観察してみるのもよいかもしれません。テンペル1彗星は7月初旬には10等程度の明るさで、おとめ座のスピカのそばにあるのでやや大きめの望遠鏡を用いると比較的観察し易いと考えられます。衝突後の彗星がどのようになるのか今から楽しみですね。



日	天文現象
4日(月)	ディープインパクト
6日(水)	新月
7日(木)	小暑
9日(土)	水星が東方最大離角
15日(金)	上弦
18日(月)	海の日
19日(火)	夏の土用入り
21日(木)	満月
23日(土)	大暑
28日(木)	下弦
29日(金)	みずがめ座流星群が極大

(飯島 輝久)

#### 「あなたの星」が見頃ですよ！

友の会のみなさん、7月の宵の空には、次のHR番号の会員さんの星がよく見えると考えられます。実際の位置や明るさは、ぜひ会員証と、おすすめ時期に同封される星図をご確認下さい。なお、星を探す際は双眼鏡があると便利です。お問い合わせは、お気軽にみさと天文台まで。

6435, 6661, 7000, 7183, 7396, 7557, 7602, 7688, 7949, 8072, 8153, 8248

## Misato 天文ダイアリー (5/16 ~ 6/15)

先月末の火球はあちこちで目撃されたようで、天文台へも問い合わせが多数ありました。残念ながら研究員は見ていないのですが、全天カメラが捉えて(?)ました(右写真)。

#### 出来事

5月  
18日：メイストーム(5月の嵐)  
21日：博物館学芸員実習生下見

## みさと天文台通信

#### 7月のイベント

天文台10周年記念イベント  
7月7日(木)午後7時  
講演：尾久土正己(和歌山大学)  
演奏：美里町大正琴クラブ  
みんなで天文台の10歳の誕生日をお祝いしませんか。

26日：火球騒ぎ  
6月  
5日：天文教室  
6日：望遠鏡整備休館(～7月1日)

#### 団体

5月  
19日：講演@BigU  
6月  
9日：和歌山東高(リーダー研修会)

7月の天文教室  
「自然のエネルギーを体験しよう  
～発電機の制作～」  
7月17日(日)午後2時  
講師：飯島 輝久(海南高校教諭)  
参加費：500円(工作実費)  
対象：小学生以上  
定員：20名  
事前に申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。

11日：講演@しづ市民大学

15日：日方小(団体下見)

#### 報道・その他

#### 5月

26日：朝日、読売、共同通信、  
関西テレビ他(火球関係取材)  
[http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/science/comets\\_and\\_meteors/?1117162196](http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/science/comets_and_meteors/?1117162196) (火球の画像)

#### 6月

1日：大阪トヨペットプレス(天文台)

#### 8月のイベント

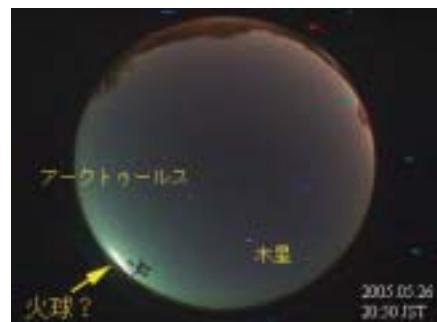
8月の天文教室  
8月11日(木)  
ペルセウス座流星群特別観望会  
8月12日(金)午後10時

#### 7月の観望会の予定

#### 開始時刻

木、日、祝 7時30分から  
金、土 7時30分、8時30分

全天カメラが捉えた火球らしき天体。



7日：関西ウォーカー(天文台)

10日：スクラム(天文台紹介)

今月は、2日(土)、8日(金)、9日(土)、15日(金)、16日(土)、17日(日)、22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)に観望会が2回行われる予定です。

#### 7月の休館日

7月は、4日(月)、5日(火)、11日(月)、12日(火)、19日(火)、20日(水)、25日(月)、26日(火)を休館日とさせていただきます。



写真：模型を使って解説する荻原研究員

#### 『NASAディープインパクト』

<http://deepimpact.jpl.nasa.gov/home/index.html>  
[http://deepimpact.umd.edu/amateur/where\\_is.shtml](http://deepimpact.umd.edu/amateur/where_is.shtml)

#### 『日本語ディープインパクト』

<http://www.nao.ac.jp/pio/200507deepimpact/>  
<http://homepage2.nifty.com/turupura/new/2005deepimpact/menu.html>